

Tidal Enterprise Scheduler : MSSQL 2008 の Windows 認証の MSSQL のアダプタ サポート

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

Tidal Enterprise Scheduler の MSSQL アダプタは、以前にサポートされていた SQL Server 認証に加えて、Windows 認証 (サポートは MSSQL 2008 に制限されます) をサポートするように拡張されています。

Windows 認証を Tidal Enterprise Scheduler MSSQL アダプタのために使用するときこの資料に「Windows 認証」サポートするために Microsoft SQL Server を接続するように jtds JDBC ドライバをロードすることが不可能エラーメッセージを解決する方法を記述されています。

前提条件

要件

最小限の要件は Tidal Enterprise Scheduler バージョン 5.3.1 および MSSQL 2008 データベースです。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Tidal Enterprise Scheduler バージョン 5.3.1 以降に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

解決策

jTDS JDBC ドライバが Windows 認証をサポートするのに使用されています。
<http://jtds.sourceforge.net> からこの自由なドライバをダウンロードして下さい。

ドライバを加えるためにこれらのステップを完了して下さい:

1. マスターを停止して下さい。
2. {TIDAL_HOME}/services/{CAFA6E81-E29F-4263-8E80-4928FFF416A2}/lib に jTDS JDBC ドライバをコピーして下さい。
3. マスターを再起動して下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)